

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公開番号】特開2011-30844(P2011-30844A)  
 【公開日】平成23年2月17日(2011.2.17)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-007  
 【出願番号】特願2009-181066(P2009-181066)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/10 3 0 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月1日(2012.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0102

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0102】

また、実施例1と実施例2との比較により、毛髪のカール半径と、2種類のコルテックス細胞52の重心間距離とは負の相関があることが分かった。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0116

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0116】

実施例3の毛髪はカール半径3.9cmであり、ややクセのある直毛であるが、毛髪断面上におけるパラ細胞52bとオルト細胞52aの分布は、図15に示すようにやや偏っていた。そして、この2種類のコルテックス細胞52の重心間距離は4.7μmであった。

実施例1、2、3の結果を比較すると、カール半径の順序と、2種類のコルテックス細胞52の重心間距離の順序が一致している。したがって、毛髪のカール半径と、2種類のコルテックス細胞52の重心間距離との間に負の相関があることがさらに明確となった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0127

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0127】

実施例4の毛髪はカール半径0.55cmであり、かなりクセの強いクセ毛であるが、毛髪断面上におけるパラ細胞52bとオルト細胞52aの分布は、図20に示すようにかなり偏っていた。そして、この2種類のコルテックス細胞52の重心間距離は20.4μmであった。

実施例1、2、3、4の結果を比較すると、カール半径の順序と、2種類のコルテックス細胞52の重心間距離の順序が一致している。したがって、毛髪のカール半径と、2種類のコルテックス細胞52の重心間距離との間に負の相関があることがさらに明確となった。